



おかねの作文 コンクール 第53回



キミの応募を
待ってるよ!



金融広報中央委員会は
全国の中学生を対象に
「おかねの作文」を募集しています。
みなさんの見たこと、聞いたこと、
感じたことをもとに
「おかね」について考えてみよう。



特選5編 (賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 日本PTA全国協議会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

秀作5編 (賞状と図書カード2万円分)

佳作30編 (賞状と図書カード3千円分)

学校賞(特選受賞者在籍校)5校 (賞状と図書カード1万円分)

9月20日

しめきり!!

消印有効

テーマ 自由

テーマ（作文に書く内容）は、「おかね」に関するものであれば、どのようなものでも構いません。

テーマを考えるときの参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を自由に考えてみてください。

テーマを決めた後、作文の内容にふさわしいタイトル（題）をつけてください。

◆テーマの例

1. 将来の夢の実現とおかねの関わり

あなたの将来の夢は何ですか。やってみたい仕事はありますか。あなたが思い描く未来を実現するために、どのようなことが心がかげ、準備をしていったらよいでしょうか。あなたの「将来設計」を、おかねとの関わり方を含めてまとめてみましょう。

2. 私のおかねのルールやわが家の約束事

あなた自身やあなたの家族で決めているおかねについてのルールはありますか。商品を買うときに心がけていること、携帯電話の使い方、お小遣いのルールなど、消費者として行動の基準としている点はどのようなことですか。2022年4月に成年年齢が18歳に引き下げられることも踏まえながら、整理してみましょう。

3. 活きたおかねの使い方とは

おかねを使うと、持っているおかねは減りますが、一方で得られる満足があります。おかねの使い方は、その人の価値観やものの考え方を表すとともに、多少なりとも世の中に影響を与える面を持ちます。買い物や貯金などについての、自分自身の体験や、周囲の人のおかねの上手な使い方について書いてみましょう。

4. ニュースにみるおかね

新聞やテレビ等で報道された、おかねに関わるニュースを取り上げて、あなたが思うことを書いてみましょう。身近な地域、中学校、社会や文化、海外や世界が関係するさまざまなニュースの中で、関心を持ったニュースを探してみましょう。

第53回「おかねの作文」コンクール 募集要項

〔応募資格〕 中学生

〔賞〕 ●特選 5編(賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/日本PTA全国協議会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と図書カード2万円分)

●佳作 30編(賞状と図書カード3千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

〔締め切り〕 2020年9月20日(日)※消印有効

〔発表〕 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

〔送付先〕 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「おかねの作文」コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2020.jp/>

〔問い合わせ先〕 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2020.jp/>



作文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。作文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、身の回りのお金や自分の将来に目を向け、考えたことを書くようご指導ください。

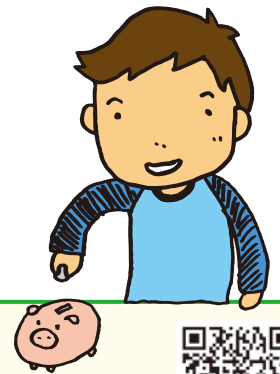
金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

あなたは、お金やモノを大切にしていますか？

私たちの回りには、たくさんのモノやサービス、情報があふれています。「豊かな社会」の中で、私たちは本当に必要なものを選択し、使っていくことが大切です。お金の使い方もそうです。適切な判断と行動ができる消費者になるためには、将来を見越して計画的にお金と付き合えるようにならなければなりません。

金融広報中央委員会が募集した「おかねの作文」コンクール、昨年は全国から2,433点の作品が寄せられ、40点が入賞作品に選ばれました。これらの作品も参考にしながら、自分の回りで「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとに、自分自身の意見をまとめてみましょう。



第52回 (2019) 受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_sakubun/

金融担当大臣賞

姿を変えるお金

福岡県 北九州市立篠崎中学校 2年
古海 真尋さん

作品の内容 子供の治療費を集める募金活動を見かけた筆者は、自身も税金で治療を受けた経験から、財布の中の10円玉を全て募金しようとする。その時、「少しの募金で困っている人は助かるのだろうか」という幼い頃の疑問を思い出し、「申し訳ない気持ち」で30円を募金すると大きな声でお礼を言われ、疑問は「思いが届いた喜び」に変わりました。エールをこめて募金することが『私の活きたお金の使い方』であると結びます。「力強い言葉が心に残る作品」と評価されました。

受賞者の声 たくさんの使い道があるお金。その中のほんの少しの金額でも募金することで誰かの力になれることを実感しました。この作文を通して考えることで、自分の「活きたお金の使い方」を続けていきます。

文部科学大臣賞

目を向けるべきは「お金の本質」

滋賀県 滋賀大学教育学部附属中学校 2年
道脇 彩乃さん

作品の内容 筆者は「お金とは何か」との疑問から、お金の本質に考えを巡らせます。お金の価値を与えるのは「人々の絶対的な信頼」であり、実際の貨幣の総量よりも多額のお金が流通し運用されている現代では、経済の土台であるお金の信頼性をいかに保つかが大切だと述べます。世界でキャッシュレス化が進む今、お金の価値と存在を保つためにも「お金に対する教育」が大切だと締めくくります。「為替、株、投資信託、仮想通貨などを取り上げて、金融に正面から取り組んだ」と評価されました。

受賞者の声 私は、この作文を書くにあたって、「信頼」という価値の重要性に驚かされました。生活と密接に結びついているお金だからこそ、本質を理解したうえで、上手に扱いたいと思います。また価値を保つために、自分がするべきことを模索していきたいです。

日本銀行総裁賞

「活きたお金」とは

福島県 いわき市立磐崎中学校 2年
今野 優花さん

作品の内容 6歳の時に東日本大震災で被災した筆者は、当時は支援物資に助けてもらったこと、募金のおかげで今では被災前とほぼ同じ暮らしができて感謝しています。「誰かのために使われるお金」には、病気の人のための募金や、貧しい国への薬・食料の支援などさまざまな形があることに気づきます。「活きたお金」とは世のため、人のために使うものだと思います。「人はみんな支え、支えられて生きている」と結びます。「実体験をストレートな文章で表した部分が印象的」と評価されました。

受賞者の声 この作文を通して、「活きたお金」について改めて考えることができました。日々何気なく使っているお金の、時に人のために役立つこと。そして私も、お金を通してたくさんの方に支えられていることに気づきました。お金の額は同じでも、私にとってより価値ある使い方ができるよう心がけたいです。

日本PTA全国協議会会長賞

お金では買えない、本当の笑顔

静岡県 静岡市立安倍川中学校 2年
近藤 瑞歩さん

作品の内容 筆者は毎月のお小遣いが度々不足して親に値上げを申し出ますが、日頃の生活態度などを理由に却下され、カッとなり言い返してしまいます。自身の言動を後悔して自室に戻ると、母が「生きた使い方をしてね」というメモと5,000円を扉の前に置きました。一晩中反省して、翌朝、5,000円を母に返した筆者は、母の優しい微笑を見て、自分はこの先のようにお金を使っていきたいかを考えます。「お金に対する弱い気持ちを乗り越える心の軌跡がうまく表現されていた」と評価されました。

受賞者の声 この作文を通して、お金の大切さや親の大切さを実感しました。僕は、親のおかげで自由に買い物ができます。しかし、世界には生活に必要なものさえ買えない子どももいます。他の人の笑顔のために、これから僕は「生きたお金の使い方」をしていきたいです。

金融広報中央委員会会長賞

私は社長

千葉県 千葉大学教育学部附属中学校 1年
洞口 未佳さん

作品の内容 筆者は家庭内で「家事代行サービス」の会社を起業します。母親に最も頼まれる「ゴミ出し」は低料金にし、次に多い「洗濯」は少し高めにし、メニューを細分化し、必要に応じて選べるように工夫しました。未収金や二重払いを防ぐため収支の記録にも取り組みます。この経験から、商売の工夫や記録の重要性、お金の使い方を判断する大切さを学びます。「家事という身近な労働体験を題材にして、社会の仕組みを考察していく様子が自然で、内容も具体的」と評価されました。

受賞者の声 お小遣いを稼ぐため家庭内起業し、「社長」になった私は、この体験を書こうと思い「おかねの作文コンクール」に応募しました。書き進めていくと更に新たなアイデアや工夫が浮かび、サービスについての考えが深まりました。このような結果となり、嬉しいです。

秀作

お金の使い方の多様性
千葉県 千葉大学教育学部附属中学校 2年
萱原 千尋さん

両親の想い
千葉県 日出学園中学校 2年
大石 真妃さん

ありがとう、今月のお小遣い
山梨県 北杜市立甲陵中学校 2年
中村 葉子さん

お金の大切さ
千葉県 いすみ市立大原中学校 3年
日高 彰太さん

ライフデザインとお金
愛知県 愛知教育大学附属岡崎中学校 3年
佐藤 崇運さん

学校賞

福島県 いわき市立磐崎中学校
千葉県 千葉大学教育学部附属中学校
静岡県 静岡市立安倍川中学校
滋賀県 滋賀大学教育学部附属中学校
福岡県 北九州市立篠崎中学校

第52回
審査員
(敬称略)

柴田 美樹 (金融庁総合政策局総合政策課課長補佐) 瀧野 清 (文部科学省初等中等教育局視学官) 佐藤 秀行 (公益社団法人日本PTA全国協議会会長)
新飯田 潤一 (全日本中学校国語教育研究協議会会長) 大澤 裕次 (日本銀行情報サービス局金融広報課長) 小泉 達哉 (金融広報中央委員会事務局次長)

応募の注意点

●文字数について **空白を含む1,600～2,000字** (参考文献・出典は含みません)

 原稿用紙で 書くなら	400字詰め原稿用紙 ※タテ20字×ヨコ20行	 パソコン原稿で 書くなら	1行20字詰め ※1枚につき30行以内
---	-----------------------------------	---	-------------------------------

◎作品集ホームページ (<https://www.ron2020.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

●応募について

個人で応募する場合	・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。 ・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号を記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	・学校宛てにお送りしています 学校専用応募用紙 にてご応募ください(学校専用応募用紙はホームページ < https://www.ron2020.jp/ > からダウンロードすることもできます)。 ・下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。 ◎日本語に限ります。 ◎作品は理由を問わず返却しません。
 ◎入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。 ◎佳作の作品は公表しません。
 ◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

作文を書くにあたってのご注意

- ・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。本文は3行目から始めてください。
- ・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。
※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- ・各ページにページ番号を記載し、右肩をホチキスで留めてください。

参考文献の明記

- ・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、作文の最終ページに必ず記入してください。記入せずに他の人の文章を使用することは「盗用」とみなされてしまうことがあります。

引用するときの注意点

- ・他の人の文章は、なるべく使用しないようにしましょう。
- ・どうしても使用したいときには、引用する文章は変更せず、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、作文の最終ページに必ず出典を記載してください。
- ・かぎ括弧や出典の記載をせずに、インターネット等で入手した他の人の文章を書き写して作文を作成することは「盗用」とみなされてしまうことがありますので、注意しましょう。

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

個人情報の取り扱いについて ●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合には、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。

(出典)	(出典) ○行目、金融広報中央委員会『きみはリッチ?―多重債務に陥らないために―』 ○出版、二〇一七年十一月、一六ページ… カイドのはなし ○行目、金融広報中央委員会『金融用語解説・エコマネー』 https://www.frc.or.jp/education/education/kyokasho/kyokasho.html 閲覧日二〇二〇年七月十九日
------	---

(出典の記入例)

(最終ページ)	○行目 作品タイトル ○2行目 学校名、学年、氏名 ○3行目 本文 作品タイトル ●市立●中学校 3年 金融太郎 ●市立●中学校 3年 金融太郎
---------	---

(記入例)

本文冒頭の記入方法

参考文献・出典の記入方法

第53回「おかねの作文」コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
立 中学校 年		
学校住所 (〒 -) 都道 市区 府県 郡		
学校電話番号 () -		学校FAX番号 () -
※マンション、アパート名等も必ずご記入ください。		
自宅住所 (〒 -) 都道 市区 府県 郡		
電話番号(日中連絡の取れる先) () -		FAX番号 () -

下記のアンケートにご協力ください。

◎このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌(媒体名) 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他 ()

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。